



# 柏葉



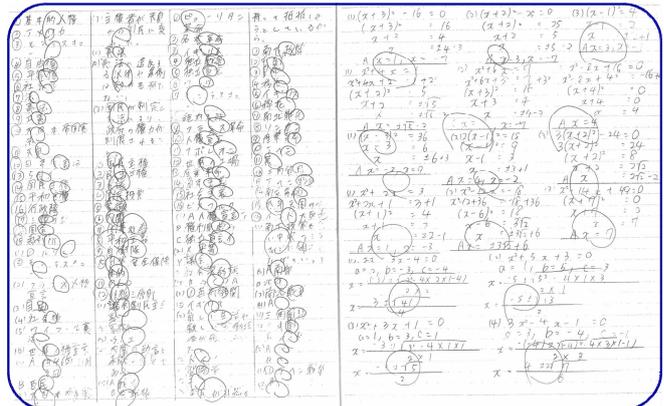
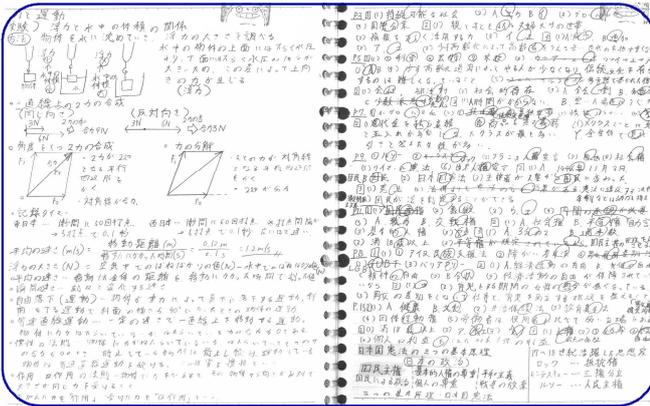
学校だより 第28号  
 令和4年11月11日(金)  
 福島県白河市立東北中学校  
 発行責任者 校長 渡邊泰昌  
 「自分の未来を切り拓け！」

## 自主学習ノート紹介 家庭学習で学力を上げよう！

自主学習ノートコンテストが開かれ、1年生から3年生まで学年各4名ずつ選出されました。3年生のみさんのノートを紹介します。ご家庭でも家庭学習についてお話しできますようお願いいたします。

【浦井竜太さんのノート】

【緑川月渚さんのノート】

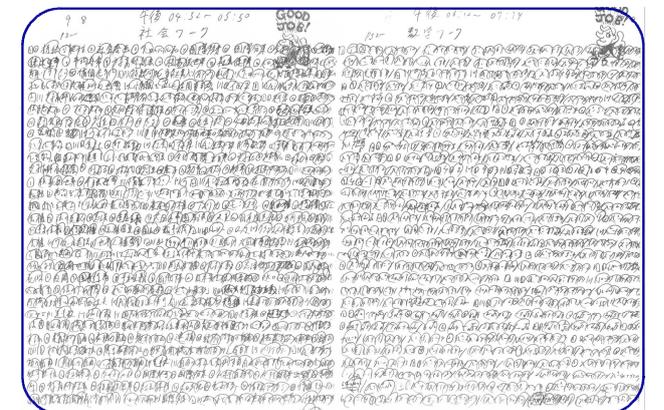
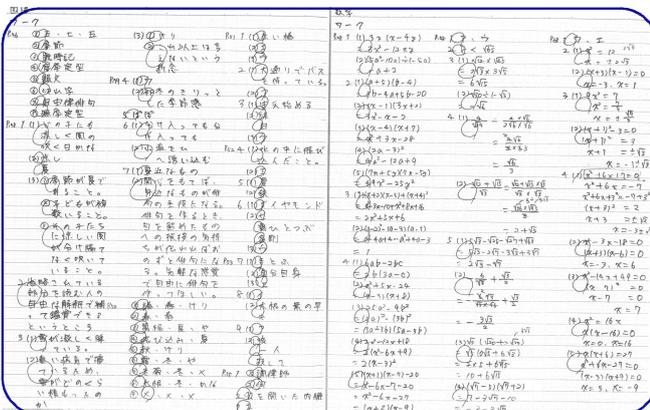


左側はまとめのページに利用し、重要語句の確認をしているところや右側は問題演習用にワークの問題をたくさん解いたり、間違ったところを下にまとめ直したりしているところが良いと思います。(評:齊藤教諭)

ノートを4分割してたくさん問題を解いていることと、途中式を書いて問題を解いていることです。間違ったときにどこでミスをしたのかすぐわかり自己分析しやすい自主学習だと思います。(評:大野教諭)

【十文字彩香さんのノート】

【荒井優紀さんのノート】



問題演習中心の内容になっていることと、間違えた問題に印をつけてしっかり直していることです。受験生としての意識の高さが伺え、すばらしいです。(評:大野教諭)

昨年から変わらずひたすら問題演習を繰り返しているところと、各教科ともワークの問題を中心に授業内容の定着に力を入れているところです。(評:齊藤教諭)

十五夜の月夜に光るつきさきすすきのつゆにゆるらゆるの... 白河、榊原...  
 『作者は13歳。中秋の名月が、中学生らしい素直で柔らかな言葉で表現されている。美しい月から、月を眺めている自分自身とその傍らにある「すき」のむねめきと意識が移って「へ。風の涼しさがわいてくるよ。」「さきさき」も優しくて。』

## 若い世代 (No. 6) & 民報短歌

文豪は私たちに想像もできないようなことをたどっている。文豪の面影を知り、本を読むのを好きになる人が増えたらいいなと思った。

文豪を知って本好きになる。白河市・佐久間杏奈 (中学生) は、私にはまだ読みたい文豪が、好きな姉から面白いエピソードを聞いたことだ。堅いイメージを持っていて、私には、その話を聞いて驚いた。繊細な文を書く一方で、普通ではないことだ。

### 若い世代

とをする。文豪の面白さに引かれ、私は文豪が好きになった。その中で、私が一番好きなのは坂口安吾だ。大とけんかしてかまれたら、私が狂犬病になったら安楽死させてくださいと紙に書いて懐に入れていたという。奥さん

にカレ1000人分の出前を頼ませた挙げ句に残した話など、私には経験できないことをたくさん

していても面白い。今は若者の本離れが深刻化していると聞く。私は本を好きになるには文豪を知ることが一番だと思う。私も文豪を知って本を読むのが楽しくな

った。

文豪は私たちに想像もできないようなことをたどっている。文豪の面影を知り、本を読むのを好きになる人が増えたらいいなと思った。